

火災情報システム 消防署側操作画面

概要

消防署側では火災情報を簡単に入力、送 Out できるようにタッチパネルを採用しています。
 入力には発生や鎮火などの状況、火災種別、発生地区名、時刻などをパネルを押すだけで入力できます。
 地区名は3階層に分かれており、地区名1を押すことでそれに該当する地区名2が表示され、また、地区名2を押すことでそれに対応する地区名3が表示されます。最後に送出を押すとこの情報がCATVに送られ、テレビ放送にスーパーインポーズされます。
 これと同時にこの情報を電子メールとしてあらかじめ登録した携帯電話などに送ることができます。



地区名登録用画面

火災情報入力に必要な地区名を下記の画面で登録します。



電子メールアドレス登録画面

火災情報を送るための電子メールアドレスを登録します。



消防署 タッチパネル選択イメージ

選択したところが赤い色に変わります。

文章を構成するためには最低でも状況、火災種別、地区名1の3カ所を選択する必要があります



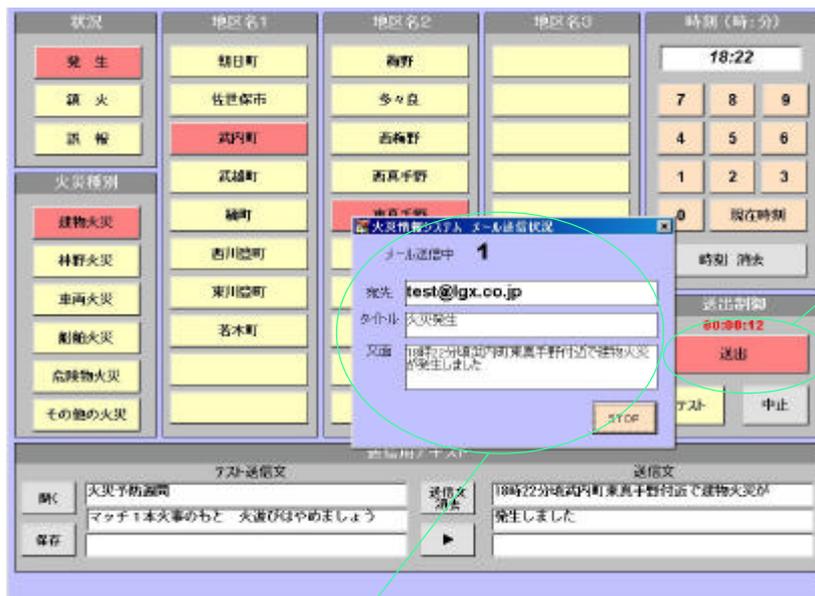
地区名が10以上ある場合は一度に表示できないため右側に頭文字が表示されます。ここで該当する文字を選ぶと地区名が表示されます。

データベースにない地名でも手入力で即座に対応できます。

ボタンを押す毎に文章が表示されます。ボタンを押し直すと文章も変更されます。キーボードから入力することもできます。

送出開始画面

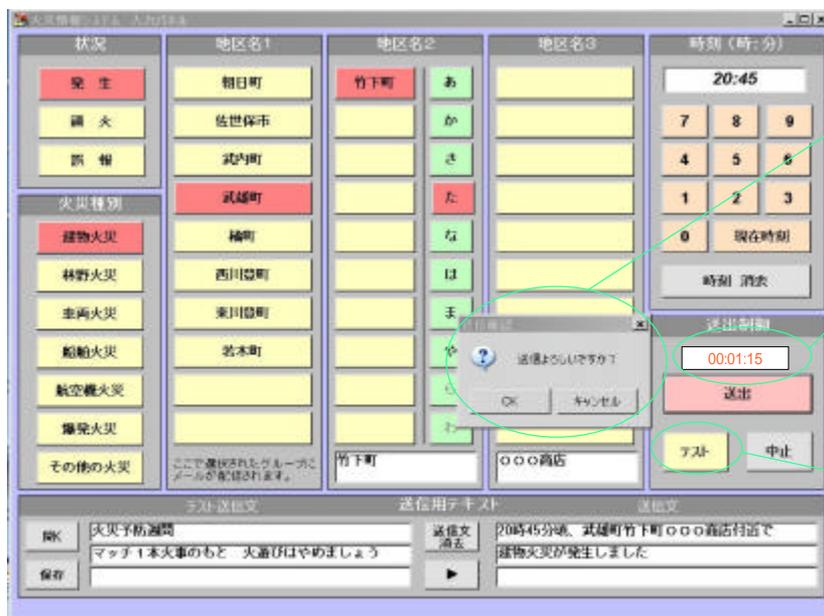
送出する文章ができれば、送出ボタンを押します。



送出ボタンを押すと赤色に変わります。送出時間はCATV側であらかじめ決めたインターバルに従います。送出中は送出ボタンの上に残り時間が表示され、この時間が0になるとこの画面で選択された部分は解除され、起動時の状態に戻ります。

同時にメール送信のウィンドウが現れ、送信状況が確認できます。

送出中の画面



送出ボタンを押したとき確認のためメッセージを表示します。誤って送出するミスを防ぎます。

火災情報送出時に残り時間が表示される

途中で送出をやめるときは中止ボタンを押します。

テスト送出画面

緊急ではない情報を送出したり、機器のテストを行う場合にテストボタンを使用します。



テストボタンを押すと赤色に変わりCATVに送出されます。この場合は送出は1回のみ (CATV側で設定した時間) となります。また、この場合はメール送信は行いません。

テスト送出にしようする文章をキーボードから入力します。ここに入力したものはファイルに保存できますので再利用可能です。

火災情報システム CATV側操作画面

概要

消防署側で入力された情報は、ケーブルテレビに送られ自動的に画面にスーパー表示されます。下のイメージの黒い部分はテレビの放送画面の部分で、その上に文字が載ります。この情報は、あらかじめ設定したインターバルでオン/ オフを繰り返します。また、文字の大きさ、色、表示位置、縁取りサイズも設定可能です。

The screenshot shows the LOGIX control interface for CATV. The main display area is black with white text that reads "佐世保市湊町付近で火災が発生しました。" (A fire occurred near Minato-cho, Sasebo City). The interface includes a vertical menu on the left with buttons for "火災情報表示" (Fire Information Display), "スーパーポーズ" (Super Pause), and "時計表示" (Clock Display). At the bottom, there are several control panels for setting intervals, times, and fonts. A status bar at the bottom right shows the current interval and time.

情報表示イメージ

**インターバル送出
手動開始、終了ボタン**

**火災情報表示
手動オン/ オフ ボタン**

**スーパーポーズ
手動オン/ オフ ボタン**

**時計表示
手動オン/ オフ ボタン**

時計サブメニューボタン

表示する文字の位置を設定します。

送出する時間、インターバル回数を設定します。

送出中のインターバルが表示されます。

消防署から送られた情報はここに表示され、画面の黒い部分にそのイメージが表示されます。また、ここにはキーボードで入力も可能ですから、CATV側で情報を送出することもできます。ここに表示されている文章はファイルに保存 / 読み出しができます。

